

【認定応用研修会シラバス】 2016.2.14 更新

研修科目	リーダーシップ概論	履修時間	60分
到達目標	マネジメント・プロセスを用いた訪問リハマネジメントの重要性を理解し、人材育成等に欠かせない「ティーチングとコーチング」の基本的な手法を身につける。		
概要	Plan(計画)、Do(実行)、Check(確認)、Action(行動)からなるPDCAサイクルおよび訪問リハマネジメントを理解し、その地域(事業所)のリーダーに必要な人材育成等の手法やポイントを紹介する。		
講師	理事もしくは外部講師		
内容	リーダーシップ総論 マネジメント理論とリハマネジメント 人材育成手法とポイント 「ティーチング・コーチング」 「OJTとoff-JT」		

研修科目	リーダーシップ演習	履修時間	90分
到達目標	リーダーシップは、①目標(ビジョン)の明確化②目標達成に向けての計画③チームのモチベーションを維持・向上するために「やりがい」をもって活動できる環境の整備等が必要である。本演習では「リハマネジメント力がチームとして向上する」ことが活動目的となるビジョン作成方法を習得するが、リハマネジメントの過程で、他職種へのマネジメントも伴ってくることも理解する。		
概要	グループワーク		
講師	理事もしくは外部講師		
内容	目標設定、目標達成のためのアクションプランの作成。 プレゼンテーション		

研修科目	訪問リハビリテーションの効果指標と研究法	履修時間	60分
到達目標	訪問リハビリテーションの効果指標として、BI、FIM、介護度など身体能力に着眼した評価ツールを日常業務において使用することは多い。しかし、一方で身体能力の効果のみが訪問リハビリテーションの目的ではなく、利用者のQOL、介護者負担感、社会交流など生活に関連する評価指標も併せた介入効果の検証も必要である。ここでは、訪問リハビリテーションの効果指標を学び、今後の調査・研究への一助となることを期待したい。		
概要	多用されている評価ツールおよび一般的な研究法を概説する。一方、訪問リハビリテーションや生活期に関連する国のモデル事業および本協会における調査・研究事業などを概説する。		
講師	理事もしくは外部講師		
内容	訪問リハビリテーションの効果指標: 評価ツールの概説とその目的 研究法の概説: 研究デザインおよび研究計画の概説 調査トピックス I・II: 国のモデル事業、本協会の調査・研究事業などの概説		

研修科目	管理運営	履修時間	60分
到達目標	安定した訪問リハビリテーションサービスの提供は、訪問リハ事業所としての適正な運営が必要不可欠である。訪問リハビリ事業所の運営・管理に関するアウトラインを理解する。		
概要	勤務表作成及び管理方法、施設基準及び記録の整備等、監査・指導時に求められる管理業務について解説し、介護サービス情報公表のチェック表を用いて参加者が属する事業所をセルフチェックする。		
講師	理事あるいは管理運営に携わる認定訪問療法士		
内容	管理運営総論 運営に必要な帳票等の管理 人員配置および勤務表の管理 感染および緊急時の対策(マニュアル)の実際		

研修科目	認定訪問療法士の役割と期待 ～グループワーク「認定訪問療法士としての使命と展望」～	履修時間	160分
到達目標	本協会が考える「認定訪問療法士の役割と期待」について講義し、グループワークにて「認定訪問療法士」はどうあるべきか? 「認定訪問療法士」としてどのように社会貢献していくべきかを創造する。		
概要	本協会が考える「認定訪問療法士の役割と期待」について講義し、その講義を元にグループワークで「認定訪問療法士の使命と展望」を創造する。また、個人活動目標を企て、その目標を達成するための具体的な行動計画を作成しグループ内で発表することで、今後の啓発活動の士気を高める。		
講師	訪問リハビリテーション協会三役		
内容	認定訪問療法士の役割と期待 当協会が考える「認定訪問療法士の役割と期待」について 認定訪問療法士としての使命と展望(グループディスカッション) 個人目標と行動計画の作成		

研修科目	事例報告	履修時間	分
到達目標	事例をまとめプレゼンテーションする能力を養う。また、座長の役割と質問者の心得を理解する。		
概要	事例発表ではプレゼンテーション能力を、座長ではタイムスケジュール管理および発表者の後ろ楯としての役割を理解する。		
講師	参加者		
内容	事例発表(口述・ポスター形式) 座長経験 質問者の心得		